

こんにちは

議会だより

NO. 122

ひがしかぐら



主な内容

第2回定例会 ● 令和6年6月19日～6月21日（3日間）

○一般質問～5名（8件）

●臨時会・議会の動き・主な議案・その他





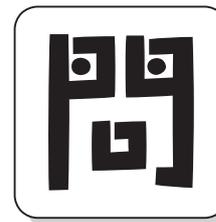
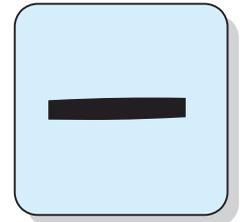
小宮達一朗 議員 …… 3 P

- 1 バスセンター跡地の使い方と郵便局について
- 2 地域 GX 推進室について



小泉義隆 議員 …… 4 P

- 1 高齢者に対する交通費助成について
- 2 健全かつ効率的な財政運営について



質問・答弁内容は質問者が要約した内容を載せています。詳しく知りたい方は、議会事務局とふれあい交流館に会議録が置いてありますのでご利用ください。

第2回定例会では5名が一般質問しました。



竹久美紀恵 議員 …… 5 P

- 1 町民の足となる「ライドシェア」等の導入について
- 2 はなのわ（文化ホール花音）の施設設備等について

横溝政行 議員 …… 6 P

- 1 特別養護老人ホーム、居宅介護、デイサービスの在り方について



松尾貴野枝 議員 …… 7 P

- 1 シルバーパスの導入を検討する考えはないですか

小宮達一朗 議員



問 バスセンター跡地の使い方について

答 町民との意見交換の場を設けるなど検討する

質問 バスセンター跡地の活用方策について、今年8月にバス停の機能が複合施設に移転することが決まっていたにもかかわらず、現時点でバスセンター跡地の具体的な活用方策が決定していないのはなぜか？あの交差点は毎年冬には本町のマスコットキャラクターかぐらつきや飛行機の電飾灯が飾られ、昨年はわらアートが存在感を示すなど、本町の玄関口のような場所である。町民の中にはバスセンターの今後について憂慮している方が多く、大きな関心事である。できる限り早くバスセンターの再利用を望む声が多いが、東神楽郵便局の今後と合わせて、この二つの場所をどう活用すべきかについて、町民からアイデアを募るべきではないか。

町長答弁 バスセンターと東神楽郵便局は町の中心部の目を引く交差点に位置していることもあり、町としては町の賑わいを創出する重要な場所であるという認識を持っている。住民からアイデアを募るのも一案だと考えており、今後策定委員会を設置する予定である。それと同時に、商工会や農協、市街地振興協会など関係団体と話し合っていく。

質問 令和6年度から立ち上がった地域GX推進室について。本町では令和4年3月にゼロカーボンシ



8月に移転する現バスセンター

ティ宣言を実施し、DX推進とともに町政執行方針となっている。今度はGXというわかりにくい言葉が出てきて、それを推進すると言われても、住民には伝わりにくい。今後GX推進室では具体的に何に絞ってGXを推進していくのか。

町長答弁 地域GX推進室は庁舎内の各課を横断する組織で、具体的な活動としては、ゼロカーボンに関する勉強会の開催や、公共施設への再生可能エネルギーの導入、公用車のEV化の検討のほか、広報やイベントを通じて行う啓発活動など、各家庭や企業の取り組みを支援していく。

質問 GXとは何か、ゼロカーボンシティとはどう違うのか。

町長答弁 GXとゼロカーボンシティの違いについては様々な捉え方があるが、GXはグリーントランスフォーメーションの略で、ゼロカーボンだけではなく様々な地球環境に配慮した取り組みを指す。

質問 脱炭素社会への取り組みには不公平な点が存在すると感じる。一般住民には電気料金に含まれる再エネ賦課金という負担だけがかかってくる。負担しかない。町として公平性を確保しながら、各家庭や企業に対して具体的にどのような支援策を講じるのか。

町長答弁 全ての人が公平に利益を享受できるのは難しい面もあるが、住民の考え方や意見も参考にさせていただきたい。

東神楽町 令和6年度 地域GX推進室の挑戦

令和6年度から地域GX推進室を立ち上げました！



町の広報誌5月号のGX推進室についての記事

■ 小泉 義隆 ■ 議員



問 高齢者に対する交通費助成について

答 交通機関の料金水準の変動などを総合的に勘案し、交通費助成事業の見直しについて検討します

質 問 外出の機会を促し、福祉の増進と社会参加を図るための交通費助成福祉事業について、ハイヤーやバスの料金値上げなどにより事業の見直しが必要だと思いますが、どのようにお考えですか。

町長答弁 町では、高齢者を対象とした交通費助成事業として、70歳以上の低所得者を対象としたバス料金の助成と、80歳以上の低所得者を対象としたタクシー料金等の助成のほか、70歳以上で運転免許証を自主返納された際にタクシー料金等の助成を行っております。このうち、80歳以上の低所得者を対象とした助成については、令和2年度から助成上限額を5千円引き上げて、年間2万5千円にしたところであります。

今後についても、交通機関の料金水準の変動や、地域交通体系の変化などを総合的に勘案し、交通費助成事業の見直しについて検討していきます。

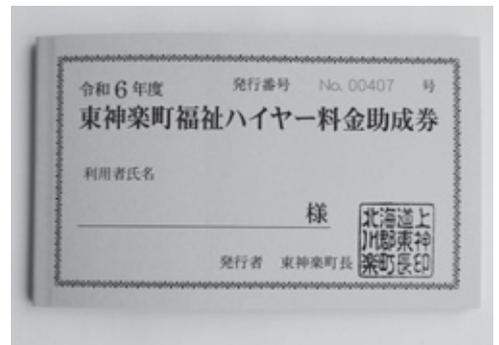
質 問 バス料金が3割程度値上がりしている中で、利用者の皆さまのご意見を聴いて助成額の引き上げを検討していただきたい。

町長答弁 バス料金の値上がり幅が大きくなってきたので、どういう形で利用者の皆さまのお話を聴きながら検討していきたい。

質 問 助成の対象範囲を拡大して、少しでも多くの運転免許証自主返納者が次年度以降も助成を受けられるように検討していただきたい。

町長答弁 他の町の状況や、住民の皆さまの思いも考えながら検討させていただきます。

健全かつ効率的な財政運営について



令和6年度福祉ハイヤー助成券

質 問 持続可能な行政サービスの提供を行うために健全かつ効率的な財政運営に努めるにあたって参考にしている今後の中長期的な財政状況について詳細をお聞かせください。

さらなる歳入確保として、「企業版ふるさと納税（注）」などの取組強化が必要だと思いますが、どのようにお考えですか。

また、宿泊税の導入についてはどのようにお考えですか。

費用対効果の高い予算編成を行うためには事業評価（注）が必須であると思いますが、どのようにお考えですか。

町長答弁 今後の中長期的な財政状況について、令和元年度に作成した中期財政収支の見通しを基に行っ

た試算では、公債費（注）は令和8年度に約8億3千万円のピークを迎え、本年度と比較すると、約1億5千万円の増加を見込んでいます。一般財源の大半を占める交付税等は、国の動向など不確実な要素が多いため、随時、計画の見直しを行いながら、健全な財政運営に努めていきます。

さらなる歳入確保については、「企業版ふるさと納税」の新たな取り組みとして、北海道銀行とマッチング支援に関する契約を締結しており、北海道の第一地銀である同行の顧客網を活用したPRにより、寄付の機会の増加につなげたいと考えています。

また、宿泊税の導入については、観光振興の新たな財源とも考えられますが、北海道や近隣市町の状況なども勘案しながら、調査・研究をしていきます。

事業評価については、本年度の第9次総合計画の策定作業に合わせ、より有効な方法を検討していきます。

《注》

「企業版ふるさと納税」

町が計画する地方創生の取り組みに対し、企業が寄付を行った場合に、法人関係税の負担が軽減される制度。

「事業評価」

個別事業等を対象に、費用に見合った政策効果が得られているかなどを事前に評価するとともに、必要に応じて事後（期中）の検証を行うもの。

「公債費」

町の借金である地方債（町債）の返済に要する費用。

竹久美紀恵 議員



問 町民の足となるライドシェアの導入について

答 どのような交通系が町にあるかを検討しながら導入の判断をまいります

質 問 高齢化が進むなか、ドライバー不足の解消に向けて国土省が「ライドシェア」新法の解禁を行いました。当町で2月に町民向けアンケート調査を行った結果、「住みたくない」が7.1%でその理由が「道路・交通便が悪い」52.9%、「買い物が不便」49.6%、その他があげられました。まだまだ、色々な問題はありますが検討をいただきたい。

町長答弁 町民のアンケート調査において、交通に関しては満足度が低く重要な課題であると認識をしております。「ライドシェア」についてはタクシーが不足している時間帯の利用性の向上を期待する一方で安全面を懸念する声もあります。

質 問 今後、町民が長く安心をして暮らしていく町にするには、公共交通機関・スクールバス・ライドシェアなどの「町民の足」問題の解決に向けて検討をするべきと考えます。

町長答弁 本格的に導入するためには、乗客が安心して利用できる仕組み作りが不可欠だと考えます。

質 問 富山市では自治体独自による「ライドシェア」も行われていたようです。DXを進めている東神楽町も独自の「東神楽ライドシェア」を検討して頂きたい。

町長答弁 今後、実施する予定の公共交通に関するアンケート調査の結果

果を考慮し国の議論・選考事例等注視して導入の検討をして参ります。



はなのわ(文化ホール)花音の施設設備等について

質 問 今年度、待望の文化ホールが庁舎内にできました。春の芸術祭などが大々的に行われましたが、実際に使用してみると問題点や改善点が多くみられました。安全で町民が利用しやすい施設であって欲しいと考えます。お聞きいたします。

① 機材を動かせる専門の職員が常駐していますか。

② 文化ホール企画委員(仮)は決定しましたか。

③ 照明等が暗いようです。舞台や移動椅子等は安全ですか

④ 会場での音響機材は万全ですか

町長答弁 4点についてお答えを致します。

① 基本的な操作は地域の元気づくり課の職員が対応しています。必要があれば専門技術者を紹介するなどの対応を検討してまいります。

② 教育委員会の方で幅広い年齢層に向け企画提案を頂ける候補者を選考中です。

③ 舞台照明は天井照明、スポットライトが一体的使用のため演出によって照明を追加したい場合は持ち込み追加照明が可能です。また、移動椅子には通路灯が整備されており、講演内容に応じて照明を点灯し安全面に配慮しております。

④ 一般的な講演会や文化祭等には十分必要な性能を有していると認識をしております。利用者団体において専門技術者の活用が必要な場合は検討をまいります。

質 問 文化連盟から52回文化祭・42回春の芸術祭終了後の聞き取り調査が届いております。今後の施設運営に必要なことが集約されております。

是非、町長にもお目通しを頂きたい。

町長答弁 できるだけ快適に使用いただけるよう改善策に取り組んでまいります。

横溝政行 議員



問 特養、訪問介護、デイサービスの今後の在り方について

答 社会福祉協議会（指定管理者）と、しっかり話し合いをしながら進めていきます

質問 社会福祉法人の福祉事業は公共性と公益性が高い事業を求められていますが、令和6年度から特養に対して赤字の部分は指定管理料として支払う訳ですが社会福祉協議会の事業計画書がどの様になっていきますか。施設の古い個所は37年も経っている訳ですが、5年後、10年後もこのままの形で施設の運営を続けますか、早い時期に建て替えを考えるとはいかがでしょう。

町長答弁 社会福祉協議会に委託をし進めてきました。人材不足など課題があります。近年の物価高騰などを含めて経営内容を精査し、指定管理料を払って行きます。社会福祉協議会とも連携をとり進めて行きます。施設の整備についてはユニット側についてはまだ20年余りです。多床棟は37年経過しておりまして全面的な建て替えは悩み所でもあります。いずれにしましても今後5年間で考えて行きます。

質問 今の特養、訪問介護・デイサービスは何処に課題があるとお考えですか。答弁では施設の老朽化、介護人材の不足、利用率の低下とあります。私は稼働率の低下が収益を上げられない第一の原因と考えます。又若い介護人材が育っていないのではないのでしょうか。

町長答弁 当然支援をしなくても良

い状況になる様に注視をし、必要な協議をし、改善をして行く様にして行きます。稼働率を上げると言った事は重要な事です。高齢化が進む中でニーズに答えられる様な取組を進めてまいります。

質問 今後益々燃料、電気代、食料、人件費など高騰してきます。その様な中で特養を守らなければなりません。町長の考えは。

また、ソフト、ハード面の施設づくりとは。

「ムリ、ムダ、ムラ」の排除の徹底とは。

町長答弁 物価高、人件費高騰などは介護保険料の中で賄われるべきだと考えます。当然事業者としての努力をして頂くと言った事になります。社会福祉協議会が運営する事で安心感であるとか、一体的に行う事により目配りなど出来る事も魅力だと考えています。当然介護の仕組み、制度、機材など変わって来ています。介護ロボットなど、どの様な形で取り入れていけるかなど考えて行かなければなりません。

質問 前年比や経年（けいねん）でどう変わっているのかその辺を年度途中でも話し合いをし、改善をして行く考えはありますか。

今後の経営など物価上昇コスト面

で非常に厳しい状況になると思いますが。行政と社会福祉協議会がお互い連携を取り高齢者が安心して暮らせる施設をつくる事が本当の意味での公共性、公益性ではないでしょうか。

町長答弁 今どの様になっているのかなど随時確認をして行く必要があるのだと思います。様々な中間状況の中で話はして行きます。稼働率とか含めて注視をして行かなければと考えています。

社会福祉協議会が自立的、自主的な運営をする事が大事であります。この地域全体の動向なども見極めながらと思っています。



アゼリアハイツ

■松尾貴野枝■議員



問 シルバーパスの導入を検討する考えはないですか

答 町の高齢者を対象とした交通費助成事業が地域特性に合っているものと考えております

質問 公共交通の充実、高齢者の健康づくりや社会参加のきっかけを後押しするのに重要な役割を担っています。

旭川市で高齢者バス料金助成事業として、寿バスカードの発行を行っています。

対象者は、旭川市民で70歳以上なら誰でも受けられます。

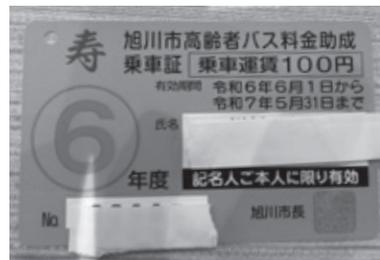
費用も年間、2,000円を払うと一乗車、100円で利用ができます。

利用できる範囲も、旭川市内から東川町、鷹栖町、比布町、当麻町のそれぞれ一部分と、我が町東神楽町のひじり野一条十丁目までも利用ができます。

日本では、一人暮らしの高齢者が自治体に求めている対策に一番多いのが、日常の見守り、安否確認、次に通いの場や交流の場、そして移動手段の確保という調査結果があります。我が町も5月に発行された広報の中の、町民アンケートによりまずと、東神楽町に住みたくない理由に道路・交通の便が悪いが、一番多いという結果が出ています。また、各対策の満足度でも公共交通の所が、マイナス0.89という結果が出ています。

この事から、外出するときのすべてに不安や不満があることが分りません。この事を踏まえて、我が町にも

シルバーパスを1市と延伸されている5町で連携して進めていく考えはないですか。あるいは、旭川市と我が町で進めていく考えはないですか。



旭川市で発行しているバスカード

町長答弁 町の高齢者を対象とした交通費助成事業では、所得制限を設けて、バス・タクシーに利用できる年額2万5千円を助成しています。

質問 旭川市の予算で考えますと我が町で同じ事業をするのは到底むりな話ですが、どうやったら取り組めるのか調査をするとか、色んな機関に働きかけて何年後かには導入できるよう最初の一步を踏み出す考えはないですか。

町長答弁 社会活動の促進や外出を促進する事によって認知症の予防に繋がるんだろうなと思っています。

しかし、高額な財源の負担を考えると他の助成サービスが出来なくなってしまうのではないかという思

いがあります。また、交通のあり方もひじり野に住んでいる方と農村部に住んでいる人では違うのではないかと思います。公平性とか、地域の特性に応じた利用を考えて検討していきたいと思っています。

質問 高齢者の方からタクシー券はもらっているけど呼んでもすぐは来てもらえない。バス運賃も旭川駅まで往復1,200円かかる。といった声があります。

高齢者が元気なうちに、気軽にバスに乗って出かけられるように、シルバーパスをどうにか導入できないものか、まず調査をするところから始めていただきたいと思っています。

町長答弁 今の技術を使うと色々な事を改善したり可能にしていく事ができると思います。

公共交通のあり方も、研究をしていけるよう進めてまいります。



東神楽町に往来するバス

第2回定例会議案審議

主な議案

議決状況

議案第1号	令和6年度東神楽町一般会計補正予算(第2号)	議案第1号から議案第8号については賛成多数で可決
議案第2号	令和6年度東神楽町国民健康保険特別会計診療施設勘定補正予算(第1号)	
議案第3号	令和6年度東神楽町水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第4号	令和6年度東神楽町下水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第5号	東神楽町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	
議案第6号	東神楽町税条例の一部を改正する条例	
議案第7号	東神楽町都市計画税条例の一部を改正する条例	
議案第8号	東神楽町子ども発達支援センター条例の一部を改正する条例	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦の件	賛成同意

意見書の提出

第2回定例会

令和6年6月19日～6月21日

・意見書案第1号・・・ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

1. 地球温暖化や山地災害の防止など森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、適切な間伐や伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
2. 森林資源の循環利用を推進するため、成長が早く形質の優れたクリーンラーチなどの優良種苗の安定供給、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材加工・流通体制の強化、建築物の木造・木質化や木質バイオマスの熱利用の促進などによる道産木材の需要拡大、外国人人材も含めた森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和6年6月20日

・意見書案第2号・・・義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

1. 国の責務である教育の機会均等・水準の最低保障を担保するため、義務教育費を無償とするよう求めます。少なくとも、義務教育費国庫負担制度を堅持し、当面、義務教育費国庫負担金の負担率を1/2に復元されるよう要請します。
2. 「30人以下学級」の早期実現にむけて、小学校1年生～中学校3年生の学級編制標準を順次改定するよう求めます。当面、中学・高校への「35人以下学級」拡大を求めます。また、地域の特性にあった教育環境整備・教育活動の推進、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するため、計画的な教職員定数改善による実質的な教職員増の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置の実現のため、必要な予算の確保・拡充をはかるよう要請します。
3. 給食費、修学旅行費、教材費など保護者負担の解消や、図書費などについて国において十分な確保、拡充を行うよう要請します。
4. 就学援助制度・奨学金制度の更なる拡大、高校授業料無償化に対する所得制限の撤廃など、就学保障の充実に向け、国の責任において予算の十分な確保、拡充をはかるよう要請します。
5. 定年引き上げ試行にともない、高齢期教職員がモチベーションを維持し、持続的に働くことのできる職場環境の構築に向けて、学校現場の実情に応じた多様な働き方が選択できる制度とするとともに、若年層教職員の採用が計画的に行われるよう、人員配置の措置拡大を要請します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出いたします。

令和6年6月20日

第3回臨時会

日 時 令和6年4月30日

議 案 第1号 令和6年度一般会計補正予算(1号)

主要内容 総額に歳入歳出 21,257千円追加し

それぞれ 7,998,257千円とする

- ・歳入 ・国保補助金採択により農地利用効率化等支援交付金を増額11,257千円とする
- ・森林公園健康回復センター回収のため辺地策事業費を増額8,030千円とする
- ・歳出 ・部活動支援のため指定寄付を活用しバッティングマシン、コードリールなど購入のため教材用器具費を増額2,143千円

(一部記載)

議会活性化特別委員会の設置

3月の定例会において、議会活性化特別委員会を設置しました。清野修一副議長を委員長、山口千春議会運営委員会副委員長を副委員長とし、全議員で取り組みます。これは「議会の在り方」についてと、議員の「意識」「活動力」「責任感」の向上を目的に設置するものです。

全議員から取り組みたい課題を抽出し、取り組みが必要かどうかを協議しています。これまでの経過では、通年会議や日曜議会の導入について(結果、現行通りとする)。また、反問権の行使について(結果、質問に対し理事者からの趣旨確認は良しとする)。などの項目が決定しています。今後も、成り手不足の解消や議員定数の見直し、議会ホームページの見直しなど継続的に検討と改善をはかります。この委員会は議会の活性化はもとより、町民の方々に議員活動の理解と身近な議会となるよう取り組みます。

研修報告

北海道町村議会議員研修会

7月2日、札幌コンベンションセンターで開催された北海道町村議会議員研修会には、東神楽町議会から10名の議員が参加しました。研修では、TV番組で気象解説をしている森朗気象予報士が登壇し、札幌市の気温上昇と東京都との比較についての講演でした。特に、札幌市は将来的に東京都よりも暑くなる可能性があることを指摘しました。また、北海道の酪農業や漁業が気候変動の影響を受けており、これが日本の食糧事情にも大きな影響を与えていることをデータを交えて説明しました。

さらに、海水温上昇により大気中の水蒸気が増加し、これが極端な降雪や降雨を引き起こす原因となり、気象の情報は災害対策にとって重要です。東神楽町でもこの現象を理解し、災害管理の戦略を強化することが求められます。

気候変動への対策としては、二酸化炭素の排出抑制が急務であり、北海道特有の森林や海藻の吸収能力を活用することが期待されています。また、地産地消の食生活の推進や、気候変動に対する柔軟な対応が求められています。地方自治体としては、気候変動対策が今後の最重要課題として位置付けし、東神楽町議会も研修で得た知見を活かしていきたいと思っております。

● 議会の動き ● 令和6年4月8日以降

議長・議員

開催日	開催場所	委員会の名称、内容等	出席、参加者等
4月8日	町内	東神楽中学校入学式	議長
4月15日	町内	東神楽工業団地連絡協議会定期総会	議長
4月25日	町内	花まつり実行委員会	議長
5月17日	東川町	上川中央部市・町議会議長会定例会議	議長
5月21日	東京都	町村議会議長・副議長研修会	副議長
5月31日	旭川市	上川地方総合開発期成会定期総会及び専門部会	議長
6月7日	東川町	大雪地区広域連合全員協議会	議長、副議長、組合議員
"	東川町	大雪葬斎組合全員協議会	議長、副議長、組合議員
6月14日	美瑛町	大雪消防組合議会臨時会	議長、副議長、組合議員
"	美瑛町	大雪清掃組合議会臨時会	議長、副議長、組合議員
"	美瑛町	大雪葬斎組合議会臨時会	議長、副議長、組合議員
"	美瑛町	大雪地区広域連合議会定例会	議長、副議長、組合議員

各委員会

開催日	開催場所	委員会の名称、内容等	出席、参加者等
4月5日	委員会室 B	議会広報常任委員会（第4回）	委員長、委員
4月16日	委員会室 A	議会活性化特別委員会（第2回）	委員長、委員
4月19日	委員会室 B	議会広報常任委員会（第5回）	委員長、委員
4月22日	委員会室 B	議会運営委員会（第3回）	委員長、委員
4月30日	委員会室 A	議員協議会（第6回）	議長、議員、ほか
5月8日	委員会室 B	議会広報常任委員会（第6回）	委員長、委員
5月13日	委員会室 A	議会活性化特別委員会（第3回）	委員長、委員
6月6日	委員会室 B	議会運営委員会（第4回）	委員長、委員、議長
6月12日	委員会室 A	議員協議会（第7回）	議長、議員、ほか
6月14日	委員会室 B	議会運営委員会（第5回）	委員長、委員、議長
6月19日	議員控室	議員協議会（第8回）	議長、議員
6月19日	委員会室 A	総務厚生常任委員会（第1回）	委員長、委員、議長
"	委員会室 B	文教産業常任委員会（第6回）	委員長、委員
6月20日	委員会室 A	議会活性化特別委員会	委員長、委員、議長
"	"	議会広報常任委員会	委員長、委員

■ 議会広報常任委員会

委員長	横溝 政行
副委員長	小宮達一朗
編集委員	生出 栄
"	清野 修一
"	竹久美紀恵
"	松尾貴野枝

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内にお金や物を送ることや文書による挨拶行為等が法律で禁止されています。また、町民の皆さんが寄付を求められません。ご理解をお願いします。

議会を傍聴してみませんか？

住民の皆さまが、会議の状況を直接見聞きできるよう、本会議室には傍聴席が設けられています。